

第2日

【小倉競輪場】 電投番号 [81#]

★ ミッドナイト競輪 ★

2022/01/27

■ ■ 1R ■ ■ 出走表 (本命率60%)

<展望> 『積極的に攻める「坂本敏」が押し切る』

予選の①(坂本)は、121期新人甲斐俊祐に前を取られ、それこそ手も足も出なかったが、このメンバーなら1枠を活かして前を取れば突っ張っても良いし、それでも④(莊田)が来たら出して自信ある捲りを決めるものと想定してみたが。点数以上の⑤(阿部晃)なら逆転は互角以上。57歳とは思えない元気な②(黒瀬)は、北の後から突き抜けの頭は思わぬ高配当。⑥(久保田)迄が一応東ライン。予選は何ともだった(莊田)は、③(江口)だけでなく⑦(橋本)に任された事で、しっかり逃げる条件で。(江口)なら抜く方が狙い。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 坂本敏也 やっぱり突っ張られますよね。阿部さんと決める自力。
- △ 2 黒瀬浩一 展開だけは仕方ない。こゝは北日本の3番手。
- × 3 江口晃正 遼太郎(中山)はホームでしたね。竜斗(莊田)
- 4 莊田竜斗 斬らせて貰えなかったのが全て。江口さんと決める自力。
- 5 阿部 晃 前が離れてはどうする事も。敏也(坂本)に任せる。
- 6 久保田敦 展開だけで、調子は悪くない。東の後か自在。
- 7 橋本忠延 待ったんですけどね。こゝは九州の後。

<展開予想>

←【1】52【6】【4】37

<穴を探る> 九州コンビで独占。 4=3

2車単 1=5 1-2 5-2

3連単 1=5-2

■ ■ 2 R ■ ■ 出走表 (本命率 75%)

<展望>『自信喪失「中山遼」汚名返上の先行』

予選の①(中山遼)は同期昼田達哉の横にも行けず、信じられない負け方をしたが、能力はこんなものでなく、本人が不安視していた練習不足は一走了事です。少しは解消したものと信じての逃げ切り。マークするのは沖縄のファイター②(喜納)、おとなしく成ったのは残念だが、付いては行けるし逆転迄も。どうしてこんな成績なのか信じられない④(山中)迄のラインは強力。自力に自信ないから予選は3番手とコメントして何もやらなかった⑦(村上)は、③(山崎)⑤(盛田)に任された事で動く気に成りはしたが。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中山遼太郎 練習不足はモロ。走る以上はしっかり逃げます。
- 2 喜納隆志 山本浩は鐘で行って欲しかった。こゝは中山遼の番手。
- × 3 山崎功也 坂本さんに任せてたので。話をして村上皇の後。
- △ 4 山中崇弘 3着には入りたかったが力不足。九州の後に決めた。
- 5 盛田将人 前が踏んでくれなかった。北でまとまり3番手。
- 6 大前寛則 ライン大事に山中崇。
- 7 村上 皇 前が遠すぎて、あれは無理。北の一番前で。

<展開予想>

←【1】 2 4 6 【7】 3 5

<穴を探る> (中山)は走る以上は連対外さない。

2車単 1=2 1-4 1-3
3連単 1-2-3 4

■ ■ 3 R ■ ■ 出走表 (本命率 75%)

<展望>『小倉に強い「昼田」が頭一つリード』

小倉は3度目で、初Vのバンクは③(昼田)、予選は同期中山遼太郎にレースをさせず、後競りを物ともせず丸2周を余力残して押し切ったのが現在の調子、大先輩⑥(岡田)と2車なら逃げと捲りを使い分ける。予選はラインで決める事を優先した事でタイムはそこまでなかったが、(昼田)同様、丸2周を逃げ切った④(甲斐)も地元⑦(俵)と2車ならば臨機応変に攻めて(昼田)にだけは自力勝負。競輪と言うより自転車競技はズブの素人から頑張ってる⑤(小坂)は、先輩①(松田)に任された事で逃げしか考えないが、問題は力量。それで(松田)は②(佐藤謙)が後なら、番手から出る事は充二分に考えられる。

<出場予定選手コメント>

- × 1 松田優一 抜いたと思ったのに踏み直された。後輩、丈(小坂)。
- 2 佐藤 謙 小坂丈を抜いたし調子は良い。茨城の3番手。
- ◎ 3 昼田達哉 遼太郎(中山)ばかり気にして後には悪かった。先輩と決めます。
- 4 甲斐俊祐 突っ張りしか考えてなかった。ラインで決まったので。連勝する自力。
- 5 小坂 丈 前に追い付かないでは力不足。強い気持で走ります。
- △ 6 岡田浩太 荘田が仕掛けてくれたからですよ。昼田。
- 7 俵裕一郎 前2人に付いて行けて良かった。甲斐の番手。

<展開予想>

←【5】 1 2 【3】 6 【4】 7

<穴を探る> 関東で独占。1-5 1-2

2車単 3=4 3-6 3-1
3連単 3-4=1 6

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 75%)

<展望> 『特昇ヘマジック 2 は地元「山本浩」』

決して大きな事は言わないが号砲が鳴れば闘士に変身する①(山本浩)、経験を積めば必ず師匠(大坪功一)を越えるし、九州を代表する自力型として活躍する楽しみなヤングマン、A級1・2班に振り返くには残り2勝、自力主体に、121期④(添田)のパワー次第では飛び付き迄ある頼もしさ。②(中園)が必死にマーク。好気合③(明星)迄が一応本線。大先輩⑦(郷坪)に任された(添田)は、(山本)以上のパワーを有して居り、前々に攻めれば(山本)の連勝を止めてる事も。⑤(小林大)迄が南関東ライン。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 山本浩成 変なタイミングで仕掛け、後に悪かった。連勝伸ばす自力。
- △ 2 中園朋亨 前回別府のリベンジが出来て良かった。山本君。
- × 3 明星晴道 誰か来るとは思ってたので、2着なら悪くない。地元の後。
- 4 添田龍児 考えてた通りのレースをやれたので調子は良い。先行基本。
- 5 小林大能 展開通りだったが、せめて一人は抜きたかった。神奈川の後。
- 6 羽石国臣 4着で準決に乗れて良かった。決めず。
- 7 郷坪和博 盛田の様に番手勝負も考えていたが、3着に突っ込めたので。後輩添田。

<展開予想>

←【1】 2 3 6 【4】 7 5

<穴を探る> 本命枠内で収まる組み合わせ。

2車単 1=4 1-2 1-3
3連単 1=4-23

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『沖縄コンビの「絆」を優先』

予選の②(照屋)は西田将士に入れて貰い、絶好の3番手に成ったのに捲りに行けなかったのは調子良いとは言えないが、このメンバーなら先行と決めず、何でもやる前々勝負を心掛ければ連対は外さないかも。任せた①(安谷屋)にこゝ小倉は唯一の優勝があるバンクなら、逆転する方が本命。何故か④(赤松)が沖縄の3番手。予選の⑥(池川)は後尾から捲りに行ったスピードこそが現在の調子なのかも、③(隅)だけでなく⑦(近藤直)に任された責任感で、捲りでなく逃げを考えている若者。仲々元々の脚には戻らない⑤(中島)は再度単騎戦。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 安谷屋将志 思ってたのと展開が違った。後輩照屋に任せる。
- 2 照屋将貴 作戦通りだったのに脚が無かった。前で自力。
- ▲ 3 隅 直幸 先き捲りする勇気に欠けた。池川に任せる。
- × 4 赤松誠一 悠斗(藤原)に任せての事なので。九州の後。
- 5 中島将尊 もう1車前だったら行けてたかも。単騎自力。
- 6 池川瑠威 行ったと思ったが、悪くはないでしょう。自力。
- 7 近藤直幹 隅に任せての事なので。初日の流れで中国の後。

<展開予想>

←【2】 1 4 【6】 3 7 【5】

<穴を探る> (池川)の自力に(隅)。 3-6 3-7

2車単 1=2 1=3 1-4
3連単 1=2-34

■ ■ 6 R ■ ■ 出走表 (本命率 40%)

<展望> 『しっかり修正した「藤原悠」が実力発揮』

予選の①(藤原)は荒木貴大に直付けするとコメントした時は、よもや吉松賢二にアッサリ飛ばされとは思わず、勝つと信じたファンは我が目を疑ったのでは、これで気合入れ直したのは間違いなく、こゝは予選で鐘前先行に挑戦した③(板崎)に任せて戦歴通りの脚力で人気に応える。地元トリオはてっきり⑦(川野)には②(松永)と思われたが、先輩⑥(片山)には世話に成ってるからで、筋を通した事でこの並びに成る。東日本の2人も何故か並ばず、⑤(石田)は④(安達)が居るのに、納得したいで自分でやる事を決断。そこで(安達)も単騎で一発狙い。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 藤原悠斗 競り負けては言い訳無用。板崎に任せる。
- ▲ 2 松永真太 調子は悪くないので。片山さんと話をして3番手。
- 3 板崎佑矢 僕には距離が長過ぎた。自力主体に自在。
- 4 安達隆己 あそこから仕掛けて勝てないでは末が甘い。自力・自在。
- 5 石田宏樹 単騎は難しかった。安達君が居るが、単騎。
- 6 片山直人 真太(松永)が許してくれたので、川野の番手。
- × 7 川野 深 捲られては力不足としか言えない。先行基本。

<展開予想>

←【7】62【3】1【4】【5】

<穴を探る> 地元トリオで上位独占。 2=6 2-7

2車単 1=3 1=2 1-7

3連単 1=3-27

■ ■ 7 R ■ ■ 出走表 (本命率 35%)

<展望> 『復調「前反」が何とかする』

今月前半は千葉250のPIST6に参加して準Vで、あの中川誠一郎に先着した②(前反)、中央大学出のエリートで、81期卒記チャンプのスプリントが突然甦ったのは紛れもない事実、初日特選はあわや突き抜けてたスピードを活かすには、昔を思い出して捲りを応用する筈。⑤(守安)が後位。特選の①(田中陽)は4着でも1着とは僅差と調子は大丈夫、自力とコメントしてる後輩⑥(境)を洗脳する事に全力を挙げる。2場所前の優勝した時に、より近付いてる先行レーサー③(荒木貴)は、④(金子)⑦(石井)を信じて逃げてしまえば押し切りは互角以上。

<出場予定選手コメント>

- 1 田中陽平 3着に届いたと思った。後輩境に任せる。
- ◎ 2 前反祐一郎 人気に応えて良かった。コメントは「何かする」でお願いします。
- ▲ 3 荒木貴大 後競りは気を遣うし好きでないが、人気に応えたので。先行基本。
- 4 金子兼久 絶好の展開でハコ3するとは。話をして荒木貴君。
- × 5 守安政雄 板崎のお蔭ですよ。許しを得て前反さんの後。
- 6 境 啓亨 自分だけに成り、後に悪かった。積極自力。
- 7 石井 孝 展開に恵まれた。こゝは東でまつまり3番手。

<展開予想>

←【3】47【2】5【6】1

<穴を探る> (荒木貴)逃げ切りのチャンス。 3-4 3-1

2車単 2=1 2=3 2-5

3連単 2-1=35

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 70%)

<展望> 『先行1車も同然は北のホープ「後藤悠」』

初日特選の①(後藤)は畝木努の巧妙なペース配分にまんまとはまり、仕掛け遅れる大失態、それでも捲りに行きはしたが、余裕の田中勇二に軽く止められる屈辱、ほど逃げ1車とも言えるメンバーならば初日の分迄パワー全開。番手は②(鈴木)、121期の弟子、日高裕太に力を貰って居り、根性とテクニックで付いて行く。⑥(梅原)の3番手は解るが、⑦(荒木)が4番手を固めたのにはビックリ。フレームにセッティングを修正した③(井手)は一人で何かやるは仕方ないにしても、サプライズは関東の2人で、予選の捲りは見事だった④(小田倉)が競りに強い処を披露した⑤(吉松)に任せた事。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 後藤 悠 後2人に申し訳なかった。気合入れ直して逃げます。
- 2 鈴木良太 着は悪かったが、手応えはあった。後藤に任せる。
- ×3 井手 健 新フレームだったんですよ、修正します。決めず何かします。
- △4 小田倉勇二 小倉との相性もあるけど、調子は良いみたい。吉松に任せる。
- 5 吉松賢二 競りは負けられないでしょう。小田倉さんの前で自在。
- 6 梅原大治 練習と本番は違いますね。良太(鈴木)の後。
- 7 荒木真滋 前に突っ掛かったが準決ならば。井手と話して、静岡の後。

<展開予想>

←【1】267【3】【5】4

<穴を探る> (後藤)の逃げ切りで(吉松)。1-5

2車単 1-2 1-4 1-3
3連単 1-2=34

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 70%)

<展望> 『特選先勝「田中勇」余裕の番手戦』

これが前期のS級で100点をオーバーした実力なのか、初日特選の①(田中勇)は鐘前から逃げた後輩②(畝木)を車間を空け乍ら追い、捲って来た後藤悠をしっかりとブロックしても仲々踏まず、芸術的なチョイ差はこれ全て調子、再び番手に付けて貰ったならば、決勝の事を考えて抜くか抜けないかの勝負に持ち込む。特選と違い、ほど先行1車の(畝木)は逃げ切る事に全力を投じる。3番手に行けたのは九州1車の好調④(西田)、順当なら3人で決まる本命レース。抵抗する東は、⑤(宇佐見)を先頭にまとまり数の力で勝負する。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 田中勇二 努(畝木)の頑張りに尽きる。又一緒ですね、任せる。
- 2 畝木 努 2周近く逃げての3着なら悪くない。勇二さんと決めます。
- 3 谷津田将吾 後藤悠に任せての事なので。後輩宇佐見に任せる。
- △4 西田将士 照屋は行けないと判断して仕掛けた。こゝは岡山の後。
- ×5 宇佐見裕輝 あんな展開に成るとは思ってなかった。後2人と決める自力。
- 6 鎌田 聡 前の頑張りで準決勝。福島3番手固める。
- 7 奥山雅士 選んだ位置が正解。こゝは東で北日本の4番手。

<展開予想>

←【2】14【5】367

<穴を探る> 福島コンビが狙い。3=5

2車単 1=2 1-4 1-5
3連単 1-2=4